



公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.62 2020/5/1



いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号から不定期ですが法人賛助会員各社の紹介コーナーを設け
ました。是非ご覧ください。

さて、今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1]【三役コラム】「新型コロナウイルス感染症」の対応協力へ感謝
- [2]【支部便り】北海道支部活動紹介
- [3]【法人賛助会員紹介】中日本航空株式会社
- [4]【航空局】加齢付加検査対象拡大
(新型コロナウイルス感染症対策として航空身体検査証明の弾力的な運用関連)
- [5]【お知らせ】協会事務局の在宅勤務体制の継続について
- [6]【お知らせ】セミナー・イベント
- [7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



- [1]【三役コラム】「新型コロナウイルス感染症」の対応協力へ感謝
副会長 菅生 徹



「新型コロナウイルス感染症」の拡がりを受け、先月4月16日から全国都道府県へ「緊急事態宣言」が拡大されました。この季節は、お花見で賑わうはずでしたが、残念な事に「密集・密接・密閉」と「不要・不急」の象徴となり、自粛対象となってしまいました。協会の活動へも大きな影響があり、イベント、各種委員会等の会合への対応を速やかに取る事になり、2月中旬に3月予定の「小型航空機セフティー・セミナー」の開催に必要な感染防止策を取れるかをポイントに置いたBC委員会を事務局交え行いました。その結

果、十分な感染防止対応は困難との結論に至り、他の協会イベントの開催も同様の理由から、中止とする事に決定。早速、数百名の参加者への中止連絡を行う事になった。連絡は、事務局の方々が連日連夜、その任に当たり、直近開催のイベントもあり、連絡が取れない参加者の為に、当日会場(松山市)に赴き対応して頂いた。そのお蔭で、参加者全員連絡の徹底がなされた。感謝の一言です。また、中止したセフティー・セミナーの講演内容を会員へ公開したいとの開催担当者の熱意と講師の方々の暖かいご厚意により、協会HPに掲載(会員HP)できる運びとなりました。再々、感謝です。先日読んだ著書に、「不安の反対は、安心でなく、行動です。いかに主体的に行動できるか。」とありました。この様な前向きな行動は抱えている不安を解消するだけでなく、免疫力の向上を高めると証明されているそうです。

「五月」、若葉青葉の爽やかな季節が来ています。もう暫くご不自由をお掛け致しますが、感染拡大防止策の取り組みに前向きに協力して頂き、一日も早い再会を誓い合いたいと思います。

★

[2]【支部便り】北海道支部活動紹介

北海道支部長 大関 春樹

★

北海道支部長を務めております大関です。

北海道支部は、昨年10月3日に会員及び会員の紹介による一般参加者を対象に海上保安庁千歳航空基地の見学会を開催しました。参加者は会員11名、一般4名の計15名でしたが、まず最初にミーティングルームに於いて海上保安庁の組織・体制、任務等について説明をしていただき、続いて格納庫に移動してボンバル300とセスナ172の見学をさせていただきました。ボンバル300は、海上保安庁の主力機であることは承知しておりましたが、海上保安庁の最前線基地に何故セスナ172があるのか尋ねると、近年は各航空基地にもパイロット養成の任務が付与されているとのことでした。セスナ172とはいえコックピットはグラスコックピット、エンジンはディーゼルエンジンで最新のものになっておりました。同航空基地は、政府専用機の格納庫が隣接しており、また、滑走路

を挟んだ西側には航空自衛隊千歳基地があるため、政府専用機（B—777）、F—15、T—4たまたま訓練のために飛来していた、オーストラリア空軍所属のF—18等の離着陸風景を間近に見ることができ、航空ファンにとっては至福の一時となりました。

当支部は、2020年度も施設見学会、飛行安全セミナー等の恒例の行事を通して、北海道を中心とした航空の安全に寄与すべく活動したいと思っておりますが、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止又は延期を余儀なくされることも想定されますのでご承知おきください。

★

[3]【法人賛助会員紹介】中日本航空株式会社

★

弊社「中日本航空」は、2020年5月で67年目を迎え、2020年4月現在ヘリコプター61機・飛行機8機を保有し、北は北海道、南は沖縄まで支社・支店・営業所・運航所・整備工場を33カ所に展開しています。

事業は、「安全最優先」の下、地形・道路等の制約に捕らわれないヘリコプターの機動性、飛行機の遠距離間移動能力を活かし、ドクターヘリ・メディカルウィングをはじめとした緊急搬送・臓器搬送などの皆様の命に係わる航空医療の分野から、物資輸送・報道取材・環境保全・航空機による調査測量事業など、空に関する仕事を多種多様に展開しております。

また、メーカーと連携した高い技術力と、経験や知識をバックグラウンドに、お客様の航空機のメンテナンス・カスタマイズを行う整備事業、地方整備局・防災・消防などの受託運航事業など、運航・整備の両面からのフルサポートが可能であり、飛行機・ヘリコプターの総合航空会社として、お客様のニーズに応じた、最適なサービスの提供を心掛けております。

2019年5月には栃木県芳賀町にヘリコプターの整備工場、栃木メンテナンスセンターをオープンし、2020年秋には本拠地である県営名古屋空港で現在建て替え工事が進められている(仮称)新第一格納庫が完成する予定です。

私たちは、「空で出来る事」「空だからできる事」「空の可能性」を追求し、

皆様の生活という身近な安心・安全な社会に向けて貢献できるよう努めてまいります。

★

[4]【航空局】加齢付加検査対象拡大
(新型コロナウイルス感染症対策として航空身体検査証明の弾力的な運用関連)

★

4月16日に通知した「航空身体検査証明の弾力的な運用について（事務連絡）」関連情報です。

令和2年4月1日から令和2年6月30日までの間に、満60歳又は満65歳の誕生日

を迎えるものについては、当該誕生日から3か月後の日までに付加検査を実施すればよいとする旨、追加しましたのでお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/5134>

★

[5]【お知らせ】協会事務局の在宅勤務体制の継続について

★

新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言が解除されていないことから、当協会事務局の在宅勤務は延長することとし、電話対応は以下の期間以外は休止させていただきます。

<出勤日>

日付:5/8、5/12、5/14、5/19、5/21、5/26、5/28

時間:10:00-16:00

お問い合わせ等は極力(e-mail japa@japa.or.jp)宛にお送りいただくようお願い申し上げます。

皆様にはご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い致します。

★
[6]【お知らせ】セミナー・イベント

新型コロナウイルスの影響により現在開催予定のセミナー・イベント
はございません。

今後のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及び
メールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますよう
お願い申し上げます。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/04/japa20200402.pdf>

★
[7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

JAPA では会員を募集しております。
ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、
JAPA 団体保険(ロスオブライセンス)へのご加入も可能ですので、
ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は5月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
